令和７年度　第１回　浅間小学校学校運営協議会　会議録(要点記録)

１　開 催 日 時　　令和７年５月１６日（金）　午後２時５分から午後３時２５分まで
２　開 催 場 所　　浅間小学校　南校舎２階　会議室
３　出 席 委 員　　鈴木 秀志、高橋 与人、伊藤 元之、市原 美智恵、鈴木 明子、
　　岡本 弥佐、加藤 好洋
４　欠 席 委 員　　岩﨑 香織、川合 正二
５　学校支援コーディネーター　　鈴木 由紀、佐藤 穂
６　学　　校　　鈴木 啓二（校長)、土屋 里佳（教頭)、宮﨑 由季（教務主任、
　　ＣＳ担当職員）栗田 加奈（ＣＳディレクター）
７　教育委員会　　清水 悠（教育総務課）
８　傍　聴　者　　なし
９　会議録作成者　　栗田 加奈（ＣＳディレクター）
10　議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木会長より本日の議長を務めることの申し出があり、全員異議なくこれを承認した。

11　協 議 事 項

（１）浅間小学校運営基本方針について
（２）いじめ防止基本方針について
（３）本年度の目標について
（４）夢育やらまいか事業ＣＳ加算分に対する意見書について

12　会 議 記 録

司会の教頭から委員総数９人のうち７人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（１）浅間小学校の学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき学校運営基本方針についての説明があり、委員からは以下の発言があった。

・主体性を引き出すにはどのようにするか。(高橋委員)
　→　子供たちに学びを委ねて子供たちが自己決定できる、子供たちが選んで学びを進めていく。自分たちが興味を持って考える授業づくりをしていく。学校行事は先生からの指示を待つのではなく、自発的に考え行動することが子供たちの自信に繋がっていく。(校長)
・小学生のうちから勉強をする癖をつけることが大事。その為には学校だけでなく、家庭の関わりが大事。(伊藤委員)
・頭ごなしに叱るのではなく、失敗から自分で気付き学ぶことが主体性に繋がっていく。先生との信頼関係が大切。(市原委員)

・子供たちが安心感をもつということは、教師が子供たちとどの様に関わっているかが大事。（鈴木秀志委員）

・昨年度末に子供たちからの意見でボランティアさんを招待してお礼でお茶を淹れるという会があった。主体性をもつことへの取り組みに先生方の努力が見える。授業参観でめあてを子供から引き出す場面があり、とても良かった。（鈴木明子委員）

・粘り強くなるために最後まで頑張る→結果が出る→自信に繋がる。（岡本委員）

・粘り強くなるためには本人が活動に意欲的に参加することが大切。（鈴木秀志委員）

議長より学校運営基本方針について承認を得る為の旨の発言があり、全員異議なく承認を得た。

（２）いじめ防止基本方針について

・浅間小学校におけるいじめの早期発見、早期対応はどのような形で実現していくか。（高橋委員）

→　教職員が子供に寄り添い、アンケートを年３回、保護者も含めた面談年４回（希望込み）行い、感度よく対応していく。未然防止については、自己肯定感を高め、相互理解の中で認め合う関係づくりをしていく。（校長）

（３）本年度の目標について

・どうしたら粘り強くなれるかが課題。（岡本委員）

・自分が活躍できなくても、チームの為に、クラスの為に頑張れるといい。（高橋委員）

・日常で平等にスポットを当ててあげると子供たちの自信に繋がる。（市原委員）

・昨年度の子供たちが夢や希望をもつ活動設定が主体性をもつということに繋がる。（教頭）

議長より、昨年度の自己評価を踏まえ、本年度の学校運営協議会の目標について以下の二点の提案があり、全員意義なくこれを承認した。

1　子供たちの主体的な活動を充実していけるような話し合いをする。

2　子供たちが夢や希望をもつことができるような活動設定について、学校のニーズに対応する。

（４）夢育やらまいか事業ＣＳ加算分に対する意見書について

・議長の指示により、教頭から、夢育やらまいか事業に対する意見書について、地域の協働活動と 6 年生のキャリア教育充実のために予算を使いたい旨の説明があった。

その他連絡事項

・次回開催について

教頭から来年度の学校運営協議会の年間開催予定日程の連絡があった。

次回議長選出について伊藤委員より立候補する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。